

2018大河津分水講演会

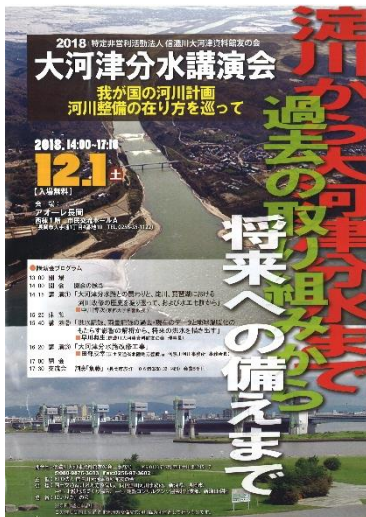
1. イベント概要

日時：平成30年12月1日（土）14:00～17:00

会場：アオーレ長岡

内容：淀川の治水計画や信濃川の水害の歴史のほか、堰等の河川管理施設の考え方、大河津分水路改修などについて3人の講師がお話されました。

主催者：NPO法人信濃川大河津資料館友の会 参加者：193名



大勢の方が会場に足を運びました。

2. イベント状況

【講演会プログラム】

13:00 開場

14:00 開会 開会の挨拶

14:15 講演①「大河津分水路の関わりと、淀川、琵琶湖における河川改修の歴史を振り返って、および水工七訓から」

◆中川博次（京都大学名誉教授）

15:25 休憩

15:40 講演②「洪水記録、雨量記録の過去・現在のデータと地球温暖化のもたらす影響の解析から、将来の洪水を描き出す」

◆早川典夫（信濃川大河津資料館友の会理事長）

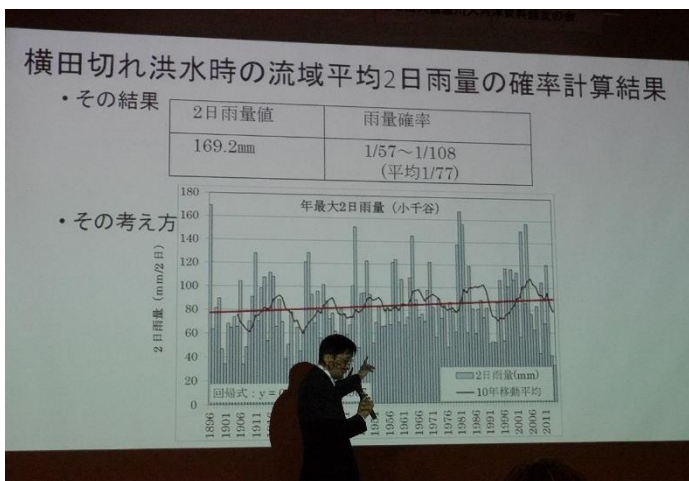
16:20 講演③「大河津分水路改修工事について」

◆田部成幸（信濃川河川事務所長）

17:00 閉会



講演① 中川先生は、淀川の治水計画や河川管理施設の考え方などについてお話されました。



講演② 早川理事長は、横田切規規模の洪水の再現期間は短くなる可能性があるとして大規模水害リスクの高まりをお話しされました。



講演③ 田部事務所長からは大河津分水路改修における当面の施工計画や地域連携によるインフラ活用などを紹介しました。